

第1回恵那市教育振興基本計画策定委員会会議録

開催日時 令和7年4月23日（水） 午前10時30分～

開催場所 恵那市役所 西庁舎 4A会議室

出席委員	委員長	相原正文
	副委員長	西尾朋子
	委員	瀬瀬康雄
	委員	鈴木圭子
	委員	安田和枝
	委員	西部良治
	委員	森川彰夫
	委員	三宅祥市
	委員	熊谷春彦
	委員	鷹見健司

事務局

教育長	岡田庄二
副教育長	工藤博也
事務局長	鈴木幸宣
事務局次長兼学校教育課長	丸山頼彦
教育総務課長	瀬瀬千尋
教育総務課総務係長	志津博光

1 開会

教育総務課長

定刻となりましたので、ただいまから第1回恵那市教育振興基本計画策定委員会を開会いたします。私、本日の司会を務めさせていただきます教育総務課長の瀬瀬と申します。どうぞよろしくお願いいたします。今日の会議ですけれども、恵那市教育委員会附属機関等の会議の公開に関する要綱により公開を行います。傍聴人は4名まで認めております。会議終了後は会議録を作成し、恵那市のウェブサイトにて公開することになっておりますので、よろしくお願いいたします。委員長及び副委員長が決まるまでは、私の方で司会を務めますのでよろしくお願いいたします。

2 委員の委嘱

教育総務課長

次第2、委員の委嘱でございます。恵那市教育振興基本計画策定委員会設置要項第3条第2項の規定により、教育長が委嘱することになっております。本来であれば、岡田教育長より1人ずつ委嘱書を交付するところでございますが、時間を短縮するという意味でも、あらかじめ、机上に配布をさせていただいておりますので、ご了承ください。

3 自己紹介

教育総務課長

自己紹介でございますが、会議資料の2ページ目をご覧ください。今回はこの名簿をもってご紹介に代えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

4 教育長あいさつ

教育長

今日は、教育振興基本計画の策定委員会ということで、お集まりいただきありがとうございます。10年前に今の教育振興基本計画を作らせていただきました。ちょうどその時に、私も一緒になって作らせていただいたのですが、10年経つと時代も変わってきて、例えば、こんなに「ICT」が教育の中に入ってくるとは思いもしなかったですし、さまざまな問題も明らかになってきている中で、10年が終わりましたので、次の教育振興基本計画を作っていこうということでお集まりをいただきました。ご存じのように、教育委員会は、生涯教育というような意味もあって、幼児教育から社会教育、文化、スポーツと多くの分野を所管しております。市によっては学校教育だけという教育委員会もございますけれども、恵那市は幅広く所管していますので、各分野のところから代表の方に来ていただいておりますし、市役所の方からは、まちづくり企画部の方からも来ていただいておりますので、幅広く教育を見ていただいて、作っていきなと思っています。併せて、来年度から市の総合計画がスタートします。総合計画が20年先を見据えて、4年ごとに見直しをしていくという形になりましたので、教育振興基本計画は、通常5年ごとというのが多いと思うのですが、恵那市は総合計画に合わせて4年単位で見直しをしていこうと考えています。そのため、4年、4年が終わったところで計画としてまた大きな見直しをしていくということになると思います。今回は、恵那市の第2次教育振興基本計画策定ということでございますので、それぞれのお立場から広くご意見をいただいて、子供たちの未来の姿がイメージできるような、そんなものになるといいのかなと思っています。今日も含めて3回から4回ぐらいの会がありますけれども、資料等は早めにお渡しをしながら、ご意見をいただけるような工夫もしていきますので、1年間ですけれども、よろしくお願いいたします。

5 委員長及び副委員長の選出

教育総務課長

次第5、委員長及び副委員長の選出です。こちらは要綱第5条第2項の規定で、「委員長及び副委員長は、委員のうちから互選する。」となっております、自

薦、他薦等がございましたら、ご発言をお願いしたいと思います。

委 員 事務局の方で案をお持ちであればお示しをいただいたらと思いますが、いかがですか。

教育総務課長

ただいま事務局案とのご発言がありましたので、事務局案を発表させていただいてもよろしいでしょうか。

委 員 はい。

教育総務課総務係長

事務局案といたしましては、委員長に社会教育委員会代表の相原正文委員、副委員長に小中学校校長会代表の西尾朋子委員を推薦いたします。

教育総務課長

ただいま事務局から推薦をさせていただきましたが、事務局案に賛成される方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

全会一致により、事務局案のとおり決定となりました。それでは、委員長及び副委員長から一言ずつごあいさつをいただきたいと思います。初めに相原委員長お願いいたします。

委員長 私、社会教育委員として推挙されまして、この席に座らせていただいています相原正文と言います。どうぞよろしくお願いします。

教育総務課長

ありがとうございます。続きまして、西尾副委員長よろしくお願いします。

副委員長 副委員長の方を拝命いたしました小中学校校長会の代表として参りました長島小学校校長の西尾朋子でございます。どうかよろしくお願いいたします。

教育総務課長

ありがとうございます。これより次第6の議事に入ります。それでは、要綱第6条第1項の規定により、これからの議事は委員長が議長を務めることとなりますので、相原委員長の方に進行をお願いいたします。

6 議事

委員長 それでは、議事進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。
議事1、教育振興基本計画策定委員会について、事務局から説明をしていただきます。よろしくお願いします。

教育総務課総務係長

議事1、教育振興基本計画策定委員会について説明。

委員長 説明ありがとうございます。ただいまの説明について、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。
ないようですので、議事2の次期教育振興基本計画の策定方針について、事務局から説明をお願いします。

教育総務課総務係長

議事2、次期教育振興基本計画の策定方針について説明。

教育総務課長

議事２、次期教育振興基本計画の策定方針について補足説明。

委員長 ありがとうございました。私は、資料のすみ分けと、表が大変分かりやすくありましたので、説明もよく分かりました。会議資料の５ページにある教育振興基本計画の策定方針について、１番、２番、３番、４番というところで説明があったわけですが、ご意見やご質問があればお願いします。

私は、この教育大綱という部分で分かりやすく受け止めました。その辺の、感想でも結構でございますので、いかがでしょうか。

委 員 事務局の資料を作っていただいた内容と説明が、とても分かりやすくありましたので、よく分かりました。

委 員 すみません。初めてなので全く分からないですけど、園でやっている４本柱みたいなものを頭に浮かべながら聞かせていただきました。

委 員 先ほどお話があったように、教育大綱に関わる部分については、今、小中学校各学校の学校経営構想にも全て反映されているところですので、ここのところを変えずにといったようなお考えについて、とても賛成します。

委 員 これからの社会は、やっぱり地域とつながっていくということが非常に大事なかなと思います。青少年も今そこを目標として動いております。明日はわくわくして楽しみな子供たちができたらいいなというふうに思っております。

委 員 文化振興会の活動ですが、実は、非常に高齢化しております。所属する各種団体が年々減っているという状況で、こういった文化活動でも少子高齢化というのは大きな影響を及ぼしておりますので、今後、今の若い子にどうやって取り組んでいくかということが大きな課題になっているかなと思っております。

委 員 この委員会が何をするのかということが分からなかったのですが、よく分かりましたので、これからよろしくお願いします。

委 員 ２０年後を見据えた計画ということで、先ほど言われたように少子高齢化が進む中で、やっぱり健康寿命をいかに伸ばしていくかというのが課題になっていくのではないかなと思います。若い人にもスポーツを楽しんでいただいて、基礎体力の向上というようなところを頑張っていただければと思います。

委 員 私も各計画とのリンク、期間の調整、そのところはよく分かりましたので、大変いいかなというふうに思います。私たちは、この計画を作るということだと思うんですけど、計画の進行管理はどういう形になるのかお伺いします。

教育総務課長

基本計画の施策については、教育委員会の各課が所管する計画の内容を抜粋する形になります。教育大綱と教育振興基本計画の中では、「ＫＰＩ」というものをもたずに、それぞれの個別計画の中でこの「ＫＰＩ」をもつことになりますので、よろしくお願いいたします。「ＫＰＩ」というのは目標指標といいまして、例えばの話ですが、スケート場の入場者数を令和７年度は１万人にします、令和８年度は１万１０００人にしますというような、数値目標を立てます。そういう目標指標が「ＫＰＩ」であり、それを達成できたかどうかという判断をするものでございます。

委員 今、第3次総合計画の策定をしておりますけれども、その責任者をしております。先ほど、20年はとても長いスパンであるというようなご発言がありましたけれども、総合計画の計画期間は自治体の判断によるところであって、10年にしなさい、20年にしなさいという法律の定めはありません。恵那市としては、2026年度から2045年度までの20年の計画を定めます。理由は何かというと、20年を定めることでまちづくりの方向性が一定以上定まって、恵那市としての政策の一貫性が損なわれることがないようにということです。また、4年ごとに見直していくというのは、市長の任期に計画期間を合わせ、できる限り一致させるということで、市長の公約やマニフェストを反映し、実行性の高い計画になるというようになりリニューアルも含めております。また、計画期間を4年ごとに見直すことで、今後起こり得る環境の変化への対応がいち早くできていくというような理由でこのような形にさせていただき、これにいろいろな計画がついていくというようなところです。今月に審議会を開催し、7月には基本的なところを了承していただいて、審議会の方から市長に答申をいただきます。その後、9月議会において基本構想の審議をしていただくスケジュールになっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

委員長 ありがとうございました。教育大綱については、8月に開催する総合教育会議の中で市長と教育委員が協議を行い、最終的に決定していくということになっていきますのでよろしくお願いいたします。そのほか意見はないようですので、これで議事を終了します。慎重審議を誠にありがとうございました。

7 その他

教育総務課長

次回開催予定について説明。

8 閉会

教育総務課長

本日、いろいろな審議会等の委員の皆さまにご出席をいただいておりますが、それぞれが所属される審議会、委員会等においても、今回のこの計画と同様に更新となる計画がたくさんございますので、またそれぞれのお立場で、その策定にはご協力をお願いしたいと思います。

本日は、大変貴重なご意見等をいただきありがとうございました。これをもちまして、第1回教育振興基本計画策定委員会を終了します。

委員の皆さま、大変お疲れ様でございました。